

改題

# 土楽たより

どうらく

Kogure 農場 6月号 (NO26)

2012年6月10日(日)発行

## 【農暦】ヤーコンの定植がやっと終わった

○夏野菜などの定植する予定のものはなるべく早くと思って作業を進めて来た。既に6月であるからである。7日に、ヤーコンの定植がやっと終わった。ここで始めた頃は遅霜があるからと、5月連休前は止めた方がよいと云われたが、待ってられず定植を始めていた事が思い出される。霜の害は畑のある場所によって違うので藤の花が咲くのを目印にしなさいとも言われたりもしたが、早く植えたい一心であった事が懐かしく思い出される。いろいろアクシデントに見舞われたからと言っても遅すぎる。春や秋と違って夏季は生育が速いのでの直ぐに追いつくと云うが1カ月も遅いのでは焦る。“蒔かぬ種は育たない”と云うが植えない苗も育たないので作業を終えてホッとした。

○やれやれこれからは、中途半端になっている片付けや草刈りをしようと思いながら、畑を回っていたら、定植したキュウリ、茄子、メロンなどがウリバエにやられ弱っていた。キャベツは防虫ネットの中で青虫に食われて葉が無くなっていた。何よりもショックだったのは、栗の木が花をつけ始めていたが、夥しい毛虫が付き、葉をむしばまれ枯れ木の

様になっているのを発見した時である。栗農家?のFUさんに相談したら調べてくれて「クスサン」と判明した。栗の木が全滅するとFUさんとJAの方に機材を貸すからと殺虫剤での駆除を勧められた。近くに栗畑は無く迷惑はかけないと判断し使わない事にした。棒で叩いて駆除した。3時間程頑張り虫が目に見えない所まで駆除した。残りの2本が助かれば良いが、生き残りの虫は間違いなくいると思う。虫と共存の気持ちは掻きむしられる。

○最近野菜の出来も悪い。今までは、ビギナーズラックの延長線上で余り努力をしない割には上手くいっていた様な気がする。環境に優しい農法として有機栽培などとし農薬、除草剤の使用は一切しないで来た。経験しただけ上手になるはずが、いい加減さが身についてしまったようで反省をし始めている。遅れ作業と体力不足とが重なりズボラ克服のハードルは高い。作付けは極力少なくと、ヤーコンは例年の約3分の1の100株にした。初志や理念を忘れては元も子もない。“農”が大事の気持ちは持ち続けたいと思う。



<下妻の花畑のポピー>笠間へ行く途中に立ち寄った。5月31日撮影

**【楽農】、茄子、ピーマン、ヤーコンなどの定植**

<ハウス> ; 大型トマトの追加の定植

トマト、ヤーコンなどの育苗

<畑 A> ; 周辺の草刈り、茄子、ピーマン、キュウリ、メロン、ヤーコンなどの定植、キャベツの補植

・そら豆、絹さや、レタスの食用収穫

<畑 B> ; 落花生の播種とイタリアントマトの定植\*

黒豆、小豆のエリアのトラクター起耕、ジャガイモの芽カキ、土寄せ、

\*ピッコロファームのもの

**【楽市】 イベント交流・直売など**

○グリーンジム本戸倶楽部（5月14-15日）

- ・落花生2畝、大型（万願寺）シントウ2畝の起耕、マルチ掛けの後、落花生を播種しカラス害対策の黄糸を畝間に均一に張る。

- ・トマトほか支柱の調達、真竹を約50本確保する。

\*懇親会は新会員の市川さんを交え栽培談義ほか楽しく親睦

○イベントなど続く

シニア情報生活アドバイザー更新講座（5月16日）、男の料理教室（25日）○わくわくフェスタに、たい焼き出店（2日）吟士権コンクール県西予選大会（3日）エコピュア柏の総会（9日）など。

\*イベントは身体の休息日と考えているが負担になる事もあるが、いろいろな関わりも大事に楽しみながら参加している。

**【つぶやき=Tweet】 キッズダンス）を見かける！**

○最近“AKB48”などの影響なのか幼児グループのダンス（キッズダンス）を見かける。たまたまかもしれないが、元会社のOB会（26日）に出席時に横浜の桜木町のランドマークの1Fで見かけたと思ったら笠間（2日）でもやっていた。現役時代にも思った事であるが、トヨタの看板方式が何処の会社でも一斉に始まる。ロジステックも、アウトソーシングもISO（品質管理）も何処の会社でも始める。やらないと落後者になった？。島国、日本の特性なのか全国画一が多い。良いことを学ぶのであればと思うが、深く考えずに？異口同音に画一化が



<ピーマンとナスの定植>

苗が小さいが定植した。この他にトマト、キュウリ、メロン、カボチャ、ゴーヤ、オクラなども。この時点ではヤーコンは終わっていない。24日撮影



<キッズダンス>桜木町のランドマークタワーの1Fで。何処でもやられているようで最近よく見かける。26日撮影

繰り返される風潮は好きになれない。

○笠間（31日）への途中に下妻の花畑に寄り道したが“花畑”もあっちこっちにある。極端に華美でなく、自然破壊に繋がらない限りにおいて良いと思う。気候や地勢が問われる農に関しては、流行りやものまねの画一化は罪深い。少しはオリジナリティー（固有）を大事にして欲しいと思うのである。中味が豊かになればオリジナリティーが生まれるのかも知れない。今の世相は中味を考えないものが多い様で嫌になる。“風評害”なるものが最たるものである。



<大きく虫が描かれていた食堂？>  
下妻の花畑の傍にあった。31日撮影

○利得主義の風潮はいつの世にもある事であると思うが、これに関連して、気なる言葉がある。今や社会原理になっている様な「インセンティブ」と言う言葉である。身勝手な風潮として目立つ利得主義の世相は「インセンティブ」と無縁ではない様な気がしてならない。誰もが画一的によく使う「インセンティブ」と言う言葉は吟味して慎重に使わなければと思う。私が良く使う“農的生活”も重いものにはしたくないが“趣味の生活”と言う様な意味合いにはしたくない。“農”が流行の様<sup>はやり</sup>に扱われたりする？が“農”は流行するものではない。環境問題も、有機栽培も商売目的に走った使い方はして欲しくない。3.11以降は騒がしいだけで不信が募るだけのものが目立つ。一過性のものであったとしたら嫌悪感だけが残る。農から始まる世直ししかないのかも知れない。俗物である私でも言いたくなる。

○一時、立花隆の本を続けて読んだ事がある。その時読み残した「文明の逆説」を読み始めた。今の世相で気になる文言が目次にあったからである。ローマ帝国の内部崩壊の文字で途中まで読んでいたことを思い出した。ローマ帝国と云えば先月水戸内原で見た映画が”テルマエ・ロマエ “で古代ローマの風呂文化をテーマにしたもので面白かった。今は“農的生活”をより良いものにしたいとの思いを強くしている。

**\*山々の新緑は深緑に、田圃は緑の絨毯に変わり、大汗と美味しいビールの時期が始まります。笠間に、kogure農場にお越し下さい。**

【特に編集せずランダムな構成にします】

発行者；Kogure農場・小暮  
住所；笠間市本戸4201-10  
携帯電話；090-9333-4135  
メール；[torao-k@nifty.ne.jp](mailto:torao-k@nifty.ne.jp)  
HP；<http://homepage3.nifty.com/toragigi/>